

設問 1

登録基幹技能者講習の受講要件で、誤っているものはどれか。

- イ サッシ・ドア・カーテンウォールまたはシャッター施工の実務経験が10年以上
- ロ サッシ・ドア・カーテンウォールまたはシャッター施工の職長経験が通算3年以上
- ハ 一級サッシ施工技能士または一級カーテンウォール施工技能士もしくは優秀施工者
国土交通大臣顕彰者（建設マスター）
- ニ 平成27年度より青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰者（建設ジュニアマスター）も
資格要件に加えられた

設問 2

基幹技能者に求められる能力で、誤っているものはどれか。

- イ 不測の事態に際しては、仕方がないとあきらめる
- ロ 部下の意見提案にも耳を傾け、それらをまとめて目標達成に向けてチーム全体をまとめることができる
- ハ 部下の能力を的確に捉え、日常業務の中で指導・教育を計画的かつ継続的に実施できる
- ニ 常に率先垂範の姿勢で行動し、チーム全員から信頼を得ている

設問 3

建設のものづくりの記述で、誤っているものはどれか。

- イ 人に頼まれてからつくる
- ロ 他人の描いた図面をつくる
- ハ 現場でつくる
- ニ 優秀な一人の技能者に委ねてつくる

設問 4

「とりよう」の役割を記述した①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 組織のまとめ役
 - ② 「手作りの味」を生み出す最高の技能者
 - ③ 他の組織（元請や他職）との調整役
 - ④ 現場の経営責任者として生産性の向上を図る
-
- イ 0
 - ロ 1
 - ハ 2
 - ニ 3

設問 5

基幹技能者の役割に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 技術者から指示された施工計画、施工要領が確実に実行されるよう、技術者との調整、前工程、後工程を担当する職方の職長との連絡調整を行う
- ロ 施工図通りの施工ができないとき、技術的提案を行い問題解決を図る
- ハ 安全基準を遵守した施工方法を指導する
- ニ 前工程の遅れに従い、後工程もそれに従う

設問 6

OJDを進める上で教育目標を設定する事項の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 部下が意欲を持って取り組めるものであること
- ロ 目標は定性的であるべき姿が漠然と理解できること
- ハ 目標は設定期間終了時に評価が可能であること
- ニ 日常の仕事を通じて行う指導・教育が可能な目標・項目であること

設問 7

コーチングの記述で、誤っているものはどれか。

- イ コーチングの効果を高めるためには、流れが重要である
- ロ コーチングによって、個人の潜在能力を引き出し成果に結びつける
- ハ コーチングで最も重要なことは、手本をやって見せることである
- ニ コーチングには「質問」・「傾聴」・「直感」・「自己管理」・「確認」の五大スキルがある

設問 8

技能と技術について記述した①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 技術とは、特定の人が習得した能力である
- ② 技能とは、多数の人により改善向上し受け継がれる
- ③ 優れた個人の技術を技能に置き換え発展させる
- ④ 技術と技能が協力することで、新しい装置や新しい技術を生み出す

- イ 0
- ロ 1
- ハ 2
- ニ 3

設問 9

5Sと作業環境の管理の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字をとったものである
- ロ 「整頓」は使用しないもの・いらぬものを捨てることである
- ハ 「清潔」と「しつけ」は「整理」「整頓」「清掃」の3Sを維持するためのものである
- ニ 5S活動は安全管理や品質向上を目的として推進される

設問 10

効果的な目標設定の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 目標の重要性の認識を強化して、組織の業績を最大化する
- ロ 目標を共有化して、各自の役割を完全に果たすことが重要である
- ハ 過大な努力を必要とする、刺激的な目標が最適である
- ニ 「危機」・「恐怖」・「感動」・「幸福感」などの体験は、人の心を刺激する

設問 11

サッシ・ドアの性能を示す用語の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 気密性能は、サッシ・ドアのすき間から、どのくらいの空気がもれるかを基準とした等級で表わす
- ロ 水密性能は、サッシ及びドアがどのくらいの風圧に耐えられるかを基準とした等級で表わす
- ハ 遮音性能は、室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ洩れる音をどのくらい遮ることができるかを基準とした等級で表わす
- ニ 断熱性能は、熱が移動するのをどのくらい抑えることができるかを基準とした等級で表わす

設問 12

サッシアンカーの固定に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ アンカーは建具に相応したもので、その間隔（ピッチ）は端部を押えて、中間部は600mm以下とする
- ロ 連結鉄筋の溶接は必ずアンカー部より取り、耐風圧強度のポイントとなる部分、障子又は扉重量の加わる部分は入念に溶接を行う
- ハ 乾式工法で枠周りにモルタルを充填しない場合は、溶接スラグを完全に除去し、溶接部に洩れなく防錆処理塗装を施す
- ニ 溶接作業は溶接電流を適正にし、アークの長さを一定に保つ必要がある

設問 1 3

カーテンウォールに使用するファスナーの必要な機能に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 躯体の層間変位及び垂直方向の変形に対し追従し、金属の温度変化による伸縮を拘束しない変形吸収ができること
- ロ カーテンウォールの自重、地震力、風圧力を躯体に伝えることができること
- ハ 断熱性能・気密性能を付与できる材料であること
- ニ 躯体誤差、製品誤差、取付誤差を吸収できること

設問 1 4

シーリング工事に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ バックアップ材は、三面接着を防ぐ役目と、充填深さの調整の役目をする
- ロ ボンドブレーカーは、二面接着の確保の役目をする
- ハ プライマーは、接着面とシーリング材の接着性を良くするために使用する
- ニ マスキングテープは、シーリング材が硬化した後、除去する

設問 1 5

サッシ及びドア本体の取付検査に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 位置決めは、陸墨・逃げ墨・返り墨を基準に位置を測定する
- ロ 倒れは、下げ振りを用いて面内及び面外の2方向を測定する
- ハ 曲り（反り）は、各枠の長さ規定に準じ、上枠の中央部のレベル差の規定は、下枠より小さい
- ニ 溶接固定は、溶接漏れの無いこと及び連結筋の形状・角度・寸法を含む溶接の状態が確実であることを検査する

設問 1 6

建設業許可に関して記述した①～④のうち、誤っているものはいくつあるか。

- ① 建設業の許可は、国土交通大臣許可と都道府県知事許可ごとに、一般建設業と特定建設業に区分されている
- ② A県が発注者である500万円以上の工事を請け負うためには、A県知事または国土交通大臣許可を得ておく必要がある
- ③ 一般建設業の許可業者は、2億円のカーテンウォール工事を下請負いすることができる
- ④ 建設業許可は29の工事業種に区分されている

- イ 0
- ロ 1
- ハ 2
- ニ 3

設問17

建設業法上の施工技術の確保に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 建設業許可を持たない業者は、主任技術者を配置しなくても良い
- ロ 建設業者は元請であれ下請であれすべて、建設工事を施工するときには、すべての工事現場に監理技術者を配置しなければならない
- ハ 公共性のある施設・工作物または多数のものが利用する施設・工作物のうち、請負金額が3,500万円以上の下請工事については、主任技術者は工事現場ごとに専任でなければならない
- ニ 主任技術者および監理技術者は、建設工事を適正に施工するため、建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理、施工従事者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない

設問18

建設業の請負契約に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 請負契約書には相互の署名または記名押印が必要である
- ロ 契約は工事内容、請負代金の額、工期などの必要事項を書面に記載して行う
- ハ 元請が優秀と認めた施工業者とは、注文者の判断で一括下請負を行ってもよい
- ニ 元請負人は下請負人が見積りを行うために必要な一定の期間を設けなければならない

設問19

常時50人以上の労働者が混在作業する建設現場の安全衛生組織の役割で、元請が選任するものはどれか。

- イ 安全衛生責任者
- ロ 安全衛生推進者
- ハ 統括安全衛生責任者
- ニ 総括安全衛生管理者

設問20

粉じん障害防止規則の記述で、正しいものはどれか。

- イ 屋内で行うアーク溶接作業は、特定粉じん作業に分類されている
- ロ 屋外で行う手持式又は可搬式動力工具を用いて岩石又は鉱物を裁断し、彫り、又は仕上げる作業は、粉じん作業に分類されている
- ハ 粉じん作業の管理責任はそれぞれの労働者に委ねられている
- ニ 粉じん作業には粉じん作業特別教育が義務付けられている

設問 2 1

労働者の就業に当たって事業者が行わなければならない措置の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 労働者を雇入れたときは、従事する業務の安全衛生教育を行わなければならない
- ロ 中高年齢者その他の労働災害の防止上その就業に当たって特に配慮を必要とする者については、これらの者の心身の条件に応じて適正な配置を行うように努めなければならない
- ハ 危険な業務には、免許を受けたもの、所定の講習を修了した者、その他省令で定める資格を有する者でなければ業務につかせてはならない
- ニ 作業主任者に対し、厚生労働省令で定めるところにより、安全又は衛生のための教育を行わなければならない

設問 2 2

特別教育の対象となる、足場の組立て等の作業にあたる業務はどれか。

- イ 5メートル以上の高さの枠組み足場の設置
- ロ 5メートル以上の高さのローリングタワーの解体
- ハ 枠組み足場の建地にブラケットを用いて作業床を設置
- ニ 脚立、可搬式作業台の移動

設問 2 3

化学物質のリスクアセスメントの記述で、誤っているものはどれか。

- イ 業種、事業場規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取扱いを行う全ての事業場が対象となっている
- ロ GHSに記載されているSDS分類などに即して、危険性又は有害性を特定するとよい
- ハ 防毒マスクや防じんマスクを使用する時には、使用期限、保管方法に注意する
- ニ 有害性を知るために、法令で定められた化学物質について、リスクアセスメントが義務づけられた

設問 2 4

環境保全の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 一般に建設工事は土地の形状や形態を改変することが多い
- ロ 周辺の自然環境、生活環境に与える影響は工事期間に及ぶが、供用後には及ばない
- ハ 地域住民との間にトラブルが発生しやすく、工程の遅れや工費の増大などを招く恐れがある
- ニ 労働安全衛生の観点から、労働環境についても適切な対策を講じなければならない

設問 2 5

適切な品質管理を行った結果得られる効果の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 良いものができる
- ロ 無駄がなくなる
- ハ 工期が短縮される
- ニ 原価が上がる

設問 2 6

仮設工事の直接仮設と共通仮設の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 本工事施工のために直接必要なものを直接仮設と言う
- ロ 工事に係る間接的に必要な仮設を共通仮設と言う
- ハ 工事用道路は、直接仮設工事である
- ニ クレーンは、共通仮設工事である

設問 2 7

作業方法の改善が必要な記述で、誤っているものはどれか。

- イ 作業の流れにムリ・ムラ・ムダがあるとき
- ロ 作業の流れに停滞する箇所があるとき
- ハ 現場の作業方法に危険のおそれがあるとき
- ニ 作業時間が短く、手直しも少ないとき

設問 2 8

建設工事の特徴に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 受注一品生産である
- ロ 土地の制約を受ける
- ハ 自然に左右されない
- ニ 社会的制約を受ける

設問 2 9

作業手順書に基づき実践した後の効果に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 作業の現状を把握するのに役立つ
- ロ 作業指示を適切に行うことができる
- ハ 作業のムリ・ムラ・ムダが省ける
- ニ 作業員の配置が難しくなる

設問30

文中の（ ）内に当てはまる数値で、正しいものはどれか。

ハインリッヒの法則によれば、（ ① ）件の重大災害（死亡・重傷）が発生する背景には、（ ② ）件の軽微な事故と（ ③ ）件の『ヒヤリ』や『ハット』したが、怪我や事故に至らなかった事例があるとされている。

	①	②	③
イ	300	29	1
ロ	300	1	29
ハ	1	29	300
ニ	1	300	29

設問31

工程管理に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 施工速度を速めると、間接費は増大する
- ロ 不適切な段取りは、作業能率の低下の要因となる
- ハ 工事の進捗に伴う状況の変化に対し、必要に応じて工程を変更する
- ニ 天候の不良は、作業能率の低下の要因となる

設問32

日程計画を作成する上で、基準とされるものはどれか。

- イ 「作業環境」と「一日平均施工量」
- ロ 「作業環境」と「一日最大施工量」
- ハ 「所要作業日数」と「一日平均施工量」
- ニ 「所要作業日数」と「一日最大施工量」

設問33

工程計画に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 工程管理とは施工計画に基づいて最も合理的で、経済的な工程を決定し、統制する機能を言う
- ロ 工事の原価は工程のスムーズな流れとは関係が無い
- ハ 直接的な目的は、施工に必要な工期（日程）の確保である
- ニ 工事の品質は工程の確保と密接に関連する

設問34

工程管理の基本事項の記述で、誤っているものはどれか。

- イ 施工の経済性と品質に適合した実行性のある最適工期を選定すること
- ロ 所定の工期、品質および経済性の3条件を満たす内容であること
- ハ 実施工程を分析検討して、計画工程とズレがあっても修正せずに施工速度を保つこと
- ニ 進捗に合わせた施工管理が可能な計画内容であること

設問35

工程管理に関する記述で、正しいものはどれか。

- イ 各工事の安全性は、考慮する必要がない
- ロ 工程計画を立てるにあたっては、季節や天候の影響を考慮する
- ハ 工事の能率は、作業員を集中して投入するほど上がる
- ニ 工事完成後、不可視部分となって確認できなくなるものについては、写真撮影を行って記録に残す必要はない

設問36

工程表を作成する上で、必要のないものはどれか。

- イ 作業主任者の選任
- ロ 施工順序の決定
- ハ 全体工程の把握
- ニ 主な作業の分類

設問37

受入検査に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 搬入された資材に破損や変質等の異常がないか
- ロ 納品書の内容と搬入された資材の仕様の相違や数量の不足がないか
- ハ 本体資材に問題がなければ付属品については検査を省いてもよい
- ニ 購入依頼した内容と納品書等の内容が一致しているか

設問38

立会検査確認事項で、誤っているものはどれか。

- イ 製作図通り製作されているか
- ロ 仕様書より社内基準に合致して製作されているか
- ハ 工事上の作業性、保守上の使い勝手を考慮して製作されているか
- ニ 試験成績の数値は規格に合致しているか

設問39

資材管理の目的に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 規格・仕様に適合した品質の資材を適正な価格で発注する
- ロ 工場の進捗・状況に見合った搬入を計画する
- ハ 数量ごとに順序よく指定した場所へ搬入する
- ニ それぞれの資材の形状や特性に合わせた保管管理をおこなう

設問40

運搬に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 作業員一人が手運びする適正な重量は50kgである
- ロ 重量・形状・材質に応じた合理的な方法をおこなう
- ハ 運搬用機材等の利用による省力化をおこなう
- ニ 運搬経路に障害物などないこと

設問41

資材の保管に関する記述で、誤っているものはどれか。

- イ 通気が良く湿気のないこと
- ロ 落下物等による損傷の恐れのないこと
- ハ 取付順序を考慮した合理的な保管をおこなうこと
- ニ 平らな場所ならば、ブレーキなしのコンテナを使用しても構わない

設問42

文中の（ ）内にあてはまるものはどれか。

道路交通法・車両制限の改正により、指定道路を通行する車両にあつては、車高が（ ）を超えない範囲であれば制限外許可を受けることは不要となった。

- イ 3.8m
- ロ 4.1m
- ハ 4.5m
- ニ 5.2m

設問43

コストダウンの方法で、誤っているものはどれか。

- イ 経営資源に対する方法
- ロ 経費削減対策
- ハ 値引き強要による方法
- ニ リストラによる方法

設問44

文中の（ ）内に当てはまる語句で、正しいものはどれか。

原価管理とは、発注者が満足する（ ）を維持し、定められた工期内で適正な利潤を確保するために管理する業務をいう。

- イ 工事費
- ロ 環境保全
- ハ 社会への貢献
- ニ 工事の質

設問45

特にその工事だけに限定した、図面上に表示しにくい材料の品質・規格・施工要領などを詳しく定めた図書はどれか。

- イ 工事監理指針
- ロ 標準仕様書
- ハ 特記仕様書
- ニ 指定部品図集

設問46

文中の（ ）内に当てはまる語句で、正しいものはどれか。

企業にとって、原価を引き下げること「利益率」を高めるだけでなく、企業の（ ）を高めるためにも経営の重要な戦略である

- イ 競争力
- ロ 福利厚生
- ハ 成長力
- ニ 意識

設問47

文中の（ ）内に当てはまる語句で、正しいものはどれか。

実行予算とは、工事原価に該当する（ ）を、可能な限り工事着工前に予測して作成するものである。

- イ 施工の条件
- ロ 費用の明細
- ハ 経費低減対策
- ニ 仕様の変更

設問48

建設業の4原価要素で、誤っているものはどれか。

- イ 材料費
- ロ 補償費
- ハ 労務費
- ニ 経費

設問49

建築や土地の工作物に瑕疵があった場合、発注者は施工業者等に対して「相当の期限を定めて修補を請求する」ことや「損害賠償を請求する」ことが出来るよう定めた法律はどれか。

- イ 刑法
- ロ 刑事訴訟法
- ハ 商法
- ニ 民法

設問50

設計品質の決め方の考え方として、「仕様規定」と何があるか。

- イ 技術規定
- ロ 安全規定
- ハ 施工規定
- ニ 性能規定

設問51

次の品質管理における「三現主義」の説明文で、正しいものはどれか。

- イ 事実を見きわめるために現場には3回以上通うことが大切との考え方である
- ロ ものごとを調べる基本で「現象・現状・現認」の3つの現を取って三現主義という
- ハ 一人で3つ以上の現場について品質管理を担当する力量を持つことである
- ニ 一般的には、「現場・現物・現実」の3つの現を取って三現主義という

設問52

品質管理のサイクルでは、 $P \Rightarrow D \Rightarrow C \Rightarrow A$ がよく使われているが、Pの意味はどれか。

- イ 計画
- ロ 場所
- ハ 図面
- ニ 水準

設問53

新築住宅の「構造耐力上主要な部分」「雨水の浸入を防止する部分」について、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」で義務付けられた瑕疵担保責任期間はどれか。

- イ 2年
- ロ 5年
- ハ 10年
- ニ 15年

設問54

品質管理手法で、誤っているものはどれか。

- イ KYK
- ロ 散布図
- ハ チェックシート
- ニ パレート図

設問55

墜落転落災害防止対策の記述①～④のうち、正しいものはいくつあるか。

- ① 足場の解体・組立て作業を行う時には、手すり先行工法の導入に努めるとよい
- ② 脚立の正しい使い方には、天板に乗らない、身を乗り出して作業をしない、脚立を背にして降りない、昇降時に手をあけておく、などがある
- ③ はしご上で作業をする時には、はしごの上端を60cm以上突出させ、足元が滑らないようにしてはしごを固定する
- ④ 高さが2m以上のところでの作業通路は、幅が30cm以上とし、かつ、床材のすき間が5cm以下、手すりは床面からの高さは85cm以上で、中さんと必要に応じて幅木を設ける

- イ 0
- ロ 1
- ハ 2
- ニ 3

設問56

熱中症が疑われた時の応急対策で、正しいものはどれか。

- イ 休憩所のクーラーの前に、終業時まで一人で寝かせておいた
- ロ 水を飲ませたら吐いてしまったので、スポーツドリンクに変更して飲ませた
- ハ 意識がはっきりしていたので、水の入ったペットボトルを自分で持たせて与えた
- ニ こむら返りを発症しているので、現場に準備していたAEDを使って治療を試みた

設問57

ヒューマンエラーの記述で、誤っているものはどれか。

- イ 集団欠陥とは、元請から職長、職長から作業員への指示が正確に伝わらないコミュニケーションエラーのことである
- ロ 単調な反復作業や準備作業の時にヒトの危険意識が低下して、労働災害につながることもある
- ハ パニックになると脳は正常に働かずに、ミスの連鎖を犯しやすくなる
- ニ 場面行動本能とは、ヒトの意識が瞬間的に一点に集中し、周囲が見えずに反射的に危険な行動をしてしまう本能のことである

設問58

次の教育のうち、労働安全衛生法に定められていないものはどれか。

- イ 経営首脳者に対する教育
- ロ 職長に対する教育
- ハ 作業内容変更時における教育
- ニ 新規雇入者に対する教育

設問59

労働災害の事業者責任に関する語句の組み合わせで、誤っているものはどれか。

- イ 刑事責任 — 業務上過失致死傷罪
- ロ 民事責任 — 高額の災害賠償金
- ハ 行政責任 — 作業の停止命令や、工事の指名停止等の措置
- ニ 社会的責任 — 社会保険の強制加入

設問60

リスクアセスメントの記述で、誤っているものはどれか。

- イ リスクアセスメントの実施で、予防の安全管理、自主的な安全活動等ができるようになる
- ロ リスクアセスメントを実施する時期は、機械・設備の設置時や変更時、作業手順などの作成時や変更時に行うとよい
- ハ 優秀な職長が、経験に基づいて優先と思われるものからリスク低減対策を立て、対策を実施するとよい
- ニ リスクはゼロにはならないので、残留リスク対策として個人が気をつけなければならない部分がある